

参考資料

## 平成25年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警 察 本 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	平成25年度	平成24年度	伸び率
予算総額	139,656,274 千円	140,149,456 千円	△0.4%
一般会計構成比	8.3%	8.4%	—

## II 主な新規事業および重要施策

(単位 千円)

### 1 暮らしの安心・安全を確保する

#### (1) 防犯対策の推進と捜査活動の強化

P 1	新規 警察職員の増員【警務課】	120,017
P 2	新規 大宮警察署等庁舎設計費【施設課】	202,788
P 3	交番、駐在所建設費【施設課】 (債務負担行為)	17,196 (限度額 370,652)
P 4	青色回転灯防犯パトロール事業【生活安全企画課】	398,284
P 5	振り込め詐欺被害防止対策の推進【生活安全企画課】	101,710

#### (2) 交通安全対策の推進

P 6	新規 自転車通行環境の整備【交通規制課】	34,494
	交通安全施設の整備【交通規制課】	1,589,209
	人にやさしい道路交通環境づくりの推進(事故防止対策)【交通規制課】	209,743
	人にやさしい道路交通環境づくりの推進(新設道路対策)【交通規制課】	742,975
	倒壊危険のあるコンクリート信号柱交換経費【交通規制課】	242,986
	信号機の停電対策の推進	60,580

### 2 危機・災害に備える

#### (1) 危機管理・防災体制の強化

	信号機の停電対策の推進(再掲)	60,580
--	-----------------	--------

## 警察職員の増員

担当 警務課  
警察本部内線 2611

### 1 目的

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官及び非常勤職員を増員し、安全で安心して暮らせるまちづくりのための活動体制の強化を図る。

### 2 事業の概要

- 警察官 25人の増員（11,310人 → 11,335人）
- 非常勤職員 19人の増員
  - ・ 交番相談員 5人（391人 → 396人）
  - ・ スクール・サポーター 12人（28人 → 40人）
  - ・ DNA型鑑定支援員 2人（皆増）

### 3 予算額

120,017千円

### 4 参 考

#### 警察官の増員推移

(人)

区 分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	実質増員													
警察官数	9,155	9,535	9,915	10,220	10,550	10,880	-	11,054	11,054	11,117	11,208	11,287	11,310	11,335
増員数	400	380	380	305	330	330	300	174	-	63	91	79	23	25

## 大宮警察署等庁舎設計費

担当	施設課
警察本部内線	2272

## 1 目 的

老朽、狭あいが著しく、効率的な警察活動に支障を来たしているほか、耐震性に問題がある大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と警察本部内の鑑識課を統合し、移転改築するための調査設計を行う。

## 2 事業の概要

## ○ 建設地

さいたま市大宮区北袋町1丁目地内（三菱マテリアル総合研究所跡地の一部）  
敷地面積 約11,000㎡（近接道路拡幅予定分1,000㎡を含む）

## ○ 施設の概要

鉄骨鉄筋コンクリート造 7階建て  
延べ床面積 約12,000㎡

## ○ 建設スケジュール

- ・ 平成24年度 用地取得
- ・ 平成25年度 調査設計
- ・ 平成26年度～28年度 建設工事

## 3 予算額

202,788千円

## 交番、駐在所建設費

担当 施設課  
警察本部内線 2272

### 1 目的

地域に密着した警察活動を行い、地域住民の安全と平穏を確保するため、交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

### 2 事業の概要

#### ○ 交番9か所の改築

- ・ 蕨警察署南町交番
- ・ 草加警察署弁天交番
- ・ 上尾警察署西上尾交番
- ・ 上尾警察署原市交番
- ・ 川越警察署南大塚駅前交番
- ・ 川越警察署名細交番
- ・ 狭山警察署新狭山駅前交番
- ・ 行田警察署行田市駅前交番
- ・ 岩槻警察署東岩槻駅前交番

#### ○ 交番1か所の新設

- ・ 上尾警察署六道（仮称）交番（駐在所の交番化）

### 3 予算額

- |               |     |           |
|---------------|-----|-----------|
| ○ 初度調弁費等      |     | 17,196千円  |
| ○ 建設費（債務負担行為） | 限度額 | 370,652千円 |

# 青色回転灯防犯パトロール事業

担当 生活安全企画課  
警察本部内線 3452

## 1 目的

県民が身近な不安を感じる、路上強盗や強制わいせつなどの抑止対策を効果的に推進する。

## 2 事業の概要

埼玉県緊急雇用創出基金を活用し、民間企業への委託事業により雇用した警備員（102人）が、機動性と視認性を兼ね備えた青色回転灯パトロールカー（48台）で重点的に警戒活動する。

## 3 事業計画

- 実施期間 平成25年6月1日から平成26年3月31日
- 総雇用者数 102人（新規雇用者84人、既雇用者18人）

## 4 予算額

398,284千円

# 振り込め詐欺被害防止対策の推進

担当 生活安全企画課  
警察本部内線 704-502

## 1 目的

依然として、被害が後を絶たない振り込め詐欺（特にオレオレ詐欺）の被害の抑止対策を効果的に推進する。

## 2 事業の概要

埼玉県緊急雇用創出基金を活用した、コールセンター事業者による「注意喚起架電活動（県内各家庭に架電し、振り込め詐欺に対する注意を直接呼びかける活動）」を26人体制で実施する。

## 3 事業計画

- 実施期間 平成25年6月1日から平成26年3月31日  
(土、日及び休日を含む毎日)
- 総雇用者数 37人（新規雇用者34人、既雇用者3人）

## 4 予算額

101,710千円

## 自転車通行環境の整備

担当 交通規制課  
警察本部内線 5 1 6 1

### 1 目 的

平成24年4月1日に施行された「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車の安全な利用の促進を図るため、自転車、歩行者及び自動車が安全に通行できる道路環境を整備することにより、自転車事故を抑止する。

### 2 事業の概要

道路管理者と連携し、

- ・ 歩道上や交差点での交通事故を防止するための自転車と歩行者の分離を推進
- ・ 自転車の車道通行位置を明示するための自転車専用通行帯の整備

を徹底するため、標識・標示による交通規制を実施する。

- 普通自転車歩道通行可の標識撤去
- 自転車横断帯の標示抹消
- 普通自転車専用通行帯規制の実施

### 3 予算額

34,494千円